

令和6年度報恩講 特別公演

講談 旭堂南華

演目『浜野矩随』

はまののりゆき

腰元彫の名人が亡くなり、息子の浜野矩随(のりゆき)が跡を継ぐが、矩随の作品は駄作ばかり。それでも名人に恩義ある道具屋だけは矩随の作品を買ってくれていた。しかし、酷い作品ばかり持ってくるので、ついに愛想を尽かす。矩随は絶望し、死のうとする。共に暮らす母親は矩随の思いを察し、形見に観世音菩薩を彫ってくれと頼む。信心深い母親の言葉に目覚めた矩随は、一心不乱に彫り続けるのだった～
仏さまの慈悲心が人を動かすお話です。



旭堂 南華(きょくどう なんか)

なみはや講談協会会長。昭和60(1985)年6月、三代目旭堂南陵に入門。世話物が得意。持論は「人が人としてきちんと生きていくすべ、知恵、みんな講釈の中にある」

11月10日(日)午後2時

報恩講法要お勤め後～
続けて本堂にて開催

9日(土)は午後2時より法要、修了後の午後5時より懇親会、

10日(日)は午後2時より報恩講法要が勤まります。

ぜひ両日共お参りください。

【正福寺】

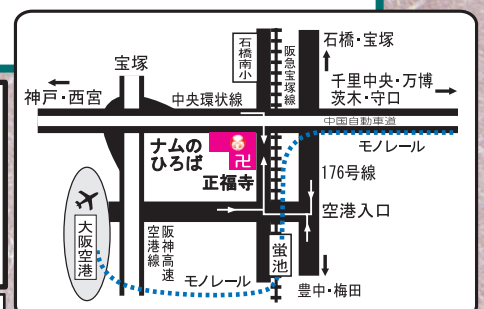
〒563-0032 大阪府池田市石橋 4-15-14

TEL : 072-762-0610 FAX : 072-762-5692

HP : <http://namosquare.org>



ホームページ用
QRコード



阪急蛸池駅より徒歩約8分